

令和8年度 学校だより

6月号

横浜市立上郷小学校

〒247-0026 横浜市栄区犬山町6番1号

電話 045-894-0761

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamigo/>



上郷

「2倍の楽しさ、一つの心で」

副校長 松本 寛恵

5月23日（土）に運動会が行われました。登校の様子を見ていると、うきうきしたような、運動会を楽しみにしているような、力が湧き出ているような雰囲気でした。いつもより足早に登校していました。

今年のスローガンは「2倍の楽しさ、一つの心で」。

低学年の徒競走では、スタートラインに立った時、とても緊張している様子の児童が見られ、見ているこちらにも緊張してしまいました。中学年のぐるぐるハリケーンでは、グループの仲間と息を合わせてコースを回り、次のグループへとつなぎました。高学年の綱引きでは、高学年らしい力強い綱の引き合いで、見ているこちらにも力が入ってしまいました。

どの競技においても、観戦している児童が一生懸命熱い声援を送り、仲間を励ましていました。それを見た私は、久しぶりに熱いものがこみ上げてきました。

デジタル化が進み、目の前にいる人にでさえも、直接言葉をかけず、デジタル機器を使ってメッセージを届けることが容易にできるようになりました。しかし、自分の伝えたいメッセージは届けたけれど、相手がメッセージを受け取った時、どのような表情をしているのか、どんな気持ちや考えになっているのか、相手の様子や思いが目に見えないことに不安を感じる事が多々あります。

運動会では、一生懸命に取り組む相手の姿を見たり、「勝利」という目標に向かったりすることで、心が突き動かされ、それが熱い声援（言葉）となって表出されたのではないかと思います。言葉を直接受け取った側はそれを糧として、例えば「苦しいな、つらいな、諦めようかな」という場面でも踏ん張り、力を振り絞って頑張ることができ、それは日常生活でも同じことではないかと思います。

運動会を開催するにあたり、日々の保護者の方のご協力、地域の方々の支え、PTAの方々の多大なるご支援により、滞りなく進めることができたことを、感謝申し上げます。主役は児童でしたが、目に見えないところで主役を支える人が必ず存在することを、児童には理解できるようになって欲しいと願います。

前半で触れた「足早に登校していました」ですが、本校の登校時間は

『8:05～8:15』です。これよりも早く登校したり、遅く登校したりする児童が散見されます。安全管理や生活習慣の観点から、ご家庭からのご協力をお願いします。